

問 都市計画道路の久慈川まで延長を

答 小松原・笠内線変則交差点解消へ



新政とうかい
ささしま しろう 議員
笹嶋 士郎

問 久慈川沿線住民の緊急避難道路として、小松原・笠内線、遠間庚塚線の都市計画道路を久慈川側道まで延長について見解は。

答 昨年度に国道245号勝田拡幅の道路4車線化工事が完了した。現在は、国道6号東海拡幅、水戸外環状道路の新設などの事業が進んでいる状況である。

これら路線の供用開始により、村内の交通状況に変化が考えられることから、今後を注視していく。

問 竹瓦住民の避難道路として、遠間庚塚線を久慈川側道まで延長

することを村は検討するべき。小松原・笠内線も原電線の変則交差点を解消して、久慈川側道まで接続出来ないかを伺う。

答 遠間庚塚線の延長には多大な負担が必要になる。現在の避難3ルートについて避難状況を注視し、必要に応じて対策を講じる。また、小松原・笠内線については、地元自治会から変則交差点の解消の要望を受け、地域と安全確保に向けた対策の協議を進めている。



改良が待たれる小松原・笠内線変則交差点

問 新規就農者への補助制度の充実を

答 新規就農認定年齢の拡大を検討



むらかみ たかし 議員
村上 孝

問 農業従事者の高齢化や担い手不足が進んでいる。近年の新規就農状況の動向を伺う。また、新規就農者への国・県・村からの補助概要について伺う。

答 地域農業の継続的な振興を目的に、農業支援センターを窓口として新規就農の相談を受けており、年間7件程度の相談がある。かんしょ栽培の相談が多いが、農作業の現場拠点や畑も所有していないことから新規就農に結びつくには難しい状況にある。令和5年度

は1名の親元就農で親が経営する畑や田を引

継ぐ意志のある方が認定に向けた手続きを進めているところ。国・県の補助としては、新規就農者経営発展支援・経営開始資金補助金があり、新規就農の立ち上げに使う制度がある。また、村独自の新規就農者への制度として、独立自営就農支援補助金、生産施設等整備補助金がある。今後は、定年年齢の延長や働き方の多様化など社会の現状を踏まえ、新規就農者の認定年齢について、対象を広げる見直しを検討する。



コンバインで稲刈り